

プラゴミ問題の モヤモヤを みんな下乗り越えよう!

参加費無料

日時

12/12 (日)
14:00 - 15:30

私たちの生活を支えるプラスチック。そのプラスチックがゴミとして世界中に広がっています。

海に出たプラスチックは、食物連鎖に入り込み、既に人間の体にも取り込まれていることも明らかになっています。

本講演では、サイエンスライターで環境問題をテーマに多くの著書を持つ保坂直紀氏が、プラスチックゴミが暮らしに与える影響や、未来に向けて私たちが出来ることについて、分かりやすくお話しします。



講師

東京大学特任教授
サイエンスライター
気象予報士

保坂直紀

1959年、東京都生まれ。東京大学大学院新領域創成科学研究科／大気海洋研究所特任教授。サイエンスライター。

東京大学理学部地球物理学科卒業。同大学大学院で海洋物理学を専攻。博士課程を中退し、1985年に読売新聞社入社。

科学報道の研究により、2010年に東京工業大学で博士(学術)を取得。2013年に読売新聞社を早期退職し、東京大学海洋アライアンスなどを経て、2019年から現職。気象予報士。

著書に『謎解き・海洋と大気の物理』『謎解き・津波と波浪の物理』(ともに講談社ブルーバックス)、『びっくり!地球46億年史』(講談社)、『海洋プラスチック』(KADOKAWA)など。

■場所

環境情報センター研修室

■対象

15歳以上の区内在住・在勤・在学者

■定員

90人程度(先着順・定員になり次第締め切り)

■申し込み

11月25日(木)から12月11日(土)までに
電話またはホームページから申し込む

※講座、展示等につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、日程・内容の変更や中止になる場合があります。